

報道機関各位

青森県健康福祉部健康福祉政策課長

ソ連抑留中死亡者遺骨の伝達について

このたび、政府派遣の遺骨帰還団により、ロシア連邦チタ州（現ザバイカル地方）「第52収容所第7支部」埋葬地から帰還した御遺骨のうち1柱が、DNA鑑定の結果、本県出身者であることが特定された旨、厚生労働省社会・援護局援護企画課外事室長から通知がありましたので、下記のとおり関係遺族へ遺骨を伝達します。

記

1 遺骨伝達日時

日時 平成23年3月14日（月）15時40分

戦没者氏名 其田豊次郎

（詳細は別添記載のとおり）

担当課・担当者	健康福祉政策課 保護・援護グループ 担当 兼平、長内、外崎
電話番号	直通 017-734-9278

(別添)

1 抑留中死亡者

- (1) 氏名 其田 豊次郎 (そのた とよじろう)
- (2) 本籍 青森県
- (3) 所属部隊 独立混成第80旅団挺進大隊
- (4) 階級 陸軍兵長
- (5) 死亡日時 昭和21年2月22日
- (6) 死亡場所 シベリアハハトイ収容所

2 遺骨受領者

- (1) 氏名 其田 秀幸 (そのた ひでゆき)
- (2) 続柄 長男

3 伝達日時・場所

- (1) 日時 3月14日(月) 15時40分頃
- (2) 場所 遺骨受領者宅

4 特定に至った経緯

(1) 埋葬地に係る関係資料概要

ロシア連邦チタ州(現ザイバイカル地方)「第52収容所第7支部」埋葬地については、旧ソ連政府より提供された「抑留中死亡者名簿」に205名が記載されており、それら旧ソ連政府等提供資料と厚生労働省保管資料を照合調査した結果、「其田豊次郎」様が埋葬されていることが確認できた。

(2) 収容状況

平成20年8月21日から9月9日までの間、政府派遣の遺骨帰還団は当該埋葬地に埋葬されていた202柱の御遺骨を収容した。

(3) DNA鑑定の結果

当該埋葬地から収容した御遺骨のうち、DNA鑑定用の検体が採取できた193柱とDNA鑑定を希望されるご遺族との間で鑑定を実施したところ、平成20年8月31日に収容された御遺骨1柱から上記遺骨受領者と親族関係が存在するとの結論が得られ、「其田豊次郎」様の御遺骨と判明した。

5 参考

国費によるDNA鑑定は平成15年度から導入され、本県では、平成15年度に2柱、平成16年度に2柱、平成17年度に5柱、平成18年度に9柱、平成19年度に1柱、平成20年度に2柱、平成21年度に1柱を御遺族に伝達しており、今回で23柱目となる。